

どうづきうた  
**島原土搗唄保存会**

島原市

代表者 森 忠義 (もり ただよし)

- 結成年月／平成6年9月
- 活動期間／30年間



第40回長崎県子ども会伝承芸能大会 (2019年)

### 活動のプロフィール

土搗唄とは、建築土木作業が人力で行われていた時代、櫓を組み、多くの人員が協力して土固め作業をする際に唄われたもの。

例年、地元小中学校での体験学習や地元住民とのふれあい行事、しまばら温泉不知火まつりパレード等に参加・実演している。多くの土搗唄が忘れ去られる中、活動を継続している団体であり、かつての村落共同体の健全性を表す貴重な郷土芸能である。



土搗唄の実演



島原城築城400年記念事業 (2024年)

#### 【活動への思いや今後の抱負】

これまで、地元三会地区、島原市で開催される行事において、「土搗唄」を実演し、保存継承に努めてきました。

結成30周年を経て、郷土の民俗芸能として少しずつですが認知されるようになりました。

本会の会員数はここ30年で3分の1にまで減少しています。

今後は、若手の会員を増やすため、魅力ある「土搗唄」を目指し、島原地方の文化向上に寄与するための活動を続けていきたいと思えます。